



# 住んでよかった、住み続けたいまちへ!!

## 地域版 保健福祉計画への取り組み



地域がこれから良くなる、活気がある、住み続けたいと思える。そんな地域にしていくためには、地域版の保健福祉計画が大きく貢献します。区役所主導ではなく、地域住民や地域内の関係団体が一緒になって、地域のことを考え、意見交換しながら、自助・共助により策定された保健福祉計画をもとに、地域活動をしましょう！  
現在、いたかの地域、新庄地域でも地域版保健福祉計画の策定が進められています。



### 先行モデル地域として地域版計画を策定した豊新地域活動協議会の皆さんにお話を伺いました

#### 企業・店舗を盆踊りにさそって

豊新版の策定後は、まず、地域活動協議会(以下、地活協)の存在を知ってもらうことに力を入れました。企業などを訪問するときに「豊新 地域保健福祉計画」の冊子を持参して説明するとよく理解いただけます。その結果、これまでに比べ盆踊りやウィンターフェスティバルなどイベントへの企業や団体の参加が大幅に増えました。ほかにも一緒に何か新しいことを始めようという話もいくつか出てきています。まず顔の見える関係をつくって、地域のために協働できることを考えています。



#### 一人ひとりの想いをじっくりと

豊新版をつくる過程で行った少人数の分科会やワークショップで、参加者一人ひとりの地域への想いや今後どういう地域にしたいかをじっくり聞く機会ができたことは本当に有意義でした。皆で短期・中期・長期の目標、進むべき方向性を共有できたので、地域の進むべき指針にしたいと思えます。まずは自分たちが楽しめることが大事ですので、何か思いついたら皆で検討して、面白い事をやっていきたいと思えます。地域活動が面白ければ自然と人は集まると思えます。



#### 愛着を深めるためのロゴマーク

豊新というまちの魅力を広め、住む人の愛着を深めるために、公募によるデザインでロゴマークを作成しました。「豊新」は「ほうしん」でなく「とよしん」と読み間違われることが多いのですが、ロゴマークがあれば正しく読んでもらえると思います。



今、構想中なのは、盆踊りなどのイベントで使える「イベント通貨」の作成です。活動を手伝った人にロゴ入りコインを渡し、地域の各種イベントで使用してもらいます。これまで、ボランティア=無報酬でしたが、このコインをイベントで使用してもらうようになると、ボランティアのやる気もあがり、集客や売り上げアップにもつながると考えます。イベントの盛況、ボランティア増など地域が活性化すればと思います。

#### 「ほっこり」できる「ほうしん」に

地活協では、高齢者・障がい者・子ども・青少年、防災・防犯などの各分野における地域の課題を解決するため、住民主体で取り組みを進めています。現在の役員は40~50代が中心で平日の昼間は活動が難しいのですが、ベテランの先輩方が支えてくれていてバランスよく活動できています。

めざすのは「ほっこりほうしん」。誰もが健康で、安心して住み続けたい、楽しいまちを地域の皆さんと関わりながら一緒につくっていききたいと思えます。



豊新地域活動協議会の皆さん

### アドバイザーからひとこと

計画づくりのメリットは、同じ地域で生活する地域住民同士のつながりや自分の住むまちの魅力に気づくことができること、課題をどう解決していくのか皆で一緒に考えることができることです。地域の活性化にもつながると考えます。



梅花女子大学 看護保健学部 口腔保健学科 綾部貴子 准教授



### 区長からひとこと

#### 地域版の保健福祉計画

東淀川区では、「住んでよかった、住み続けたい東淀川区」のまちづくりをめざして策定した「東淀川区地域保健福祉計画(H28.12)」により、地域版の保健福祉計画の策定に取り組んでいます。

地域で行なわれる様々な活動は、地域団体の皆さんやボランティアの方が中心となって実施されています。前日までの準備・当日の運営・後片付けまで、力を合わせて取り組まれており、本当に頭の下がる思いです。こうした活動の一つ一つが、今の地域コミュニティを支えています。

地域活動は地域課題の解決に向けて取り組まれており、その取組みは地域にお住まいのすべての方に還元されます。そのため、地域活動には皆さんの協力が必要です。個人1人1人が「何かをしたい。少しなら手伝える。」という思いや気持ちを実行に移すことが、これからますます大切になってきます。また、困っている人がいたら1人ではなく、地域で協力しながら助け合うことも重要です。

このような自助・共助により、少しでもお住まいのまちが『楽しく、元気に、明るく』なるために「どのようなことが必要か?どのようなことができるのか?」といった事を、意見交換し、皆さんの声を「見える化」したものが、「地域版の保健福祉計画」で、これまで3地域が策定に取り組まれています。地域版の保健福祉計画を皆さんで共有し、今後の活動の「めやす」として活用し、よりよいまちをつくっていきましょう。今後、区内全地域で策定し、全ての地域で取り組んでいくことにより、地域コミュニティが活性化され、それが東淀川区全体の発展へ繋がっていくことを期待しています。



東淀川区長 北岡 均

【問合せ】地域協働 1階 9番 4809-9826

広告掲載枠